

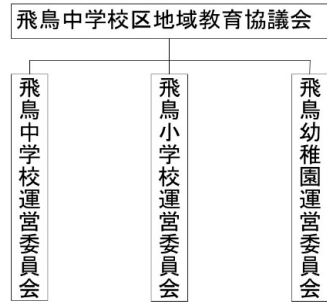
こんな活動です

# 地域に対する誇りと、地域を大切にできる心を持ち、自ら考え主体的に行動する子どもの育成

|        |                       |   |
|--------|-----------------------|---|
| 奈良県奈良市 | ●活動名<br>飛鳥中学校区地域教育協議会 | ●関係する学校名<br>奈良市立飛鳥中学校 奈良市立飛鳥小学校 奈良市立飛鳥幼稚園 |
|--------|-----------------------|---|

|                    |   |                |     |                |             |          |       |
|--------------------|---|----------------|-----|----------------|-------------|----------|-------|
| 協働活動開始年度           | 平成 20 年度  | 関係学校数          | 3 校 | のべ学級数          | 33 学級       | のべ児童・生徒数 | 754 人 |
| 活動区分               | 学校支援活動  | 地域課題解決学習       |     | 地域人材育成         |             |          |       |
| 統括的な地域学校協働活動推進員等の数 | 配置人数<br>1人  | 地域学校協働活動推進員等の数 |     | 配置人数<br>16人    |             |          |       |
| 学校運営協議会            | 指定・設置日<br>平成27年1月15日設置  | ボランティアの数       |     | 延べ登録人数<br>310人 | 企業・NPO等との連携 | 有        |       |
| 参考URL              | <a href="http://www.naracity.ed.jp/asuka-e/index.cfm/1,0,17,469.html">http://www.naracity.ed.jp/asuka-e/index.cfm/1,0,17,469.html</a> |                |     |                |             |          |       |

## 体制図



|      |                |                |
|------|----------------|----------------|
| ●連絡先 | 奈良市教育委員会 地域教育課 | ☎ 0742-34-5366 |
|------|----------------|----------------|

●活動の概要・経緯  
飛鳥中学校区地域教育協議会は、平成20年に組織され11年目となる。現在は保護者、教員とともに学校運営協議会の地域連携部としても属しており、さらに深く各校園の支援を行っている。地域住民、保護者、教員の熟議から、「理想の学校像」「理想の地域像」「理想の家庭像」「理想の生徒像」「理想の教師像」を挙げ、地域、学校、家庭で子供を育てること、そして将来に向けた課題を見つけることを意識して活動している。コミュニティカレンダーの作成は平成24年度から続けられており、広く地域の方へ学校や地域の行事を知らせ、参加を募ることに成功している。コーディネーターを中心に学校園、児童、生徒、園児の力で行われる「あすかフェスティバル」は平成30年度には17回目を迎え、継続的事業としての成果を確認できる。

## ●活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①「飛鳥ブランド」ということばに見てとれるように、「自尊感情の醸成」の観点をもってすべての活動に取り組む。
- ②学校園を中心とした地域づくりともいえる、「あすかフェスティバル」の開催は17年目を迎え、地域、学校園、生徒、保護者といった「平面軸のつながり」を強めている。「平面軸のつながり」の強化→学校力・地域力の向上→生徒の自尊感情の醸成及び学力の向上→10年後にはスムーズな世代交代、つまり「時間軸のつながり」に至る、という明確なビジョンを持ち活動している。
- ③「尊敬できる身近なモデルを見つけてほしい、モデルがいればヤル気になる」との思いから、子供たちに地域の大人の頑張る姿を見せることを共通認識としている。

### 【実施に当たっての工夫】

「あすかフェスティバル」において、幼稚園児・小学生・中学生それぞれに役割を持たせることや、また、地域の諸団体や校区内の大学とも連携して行う「防災プロジェクト」に、中学生が、教員、保護者とともに参加し、実際に災害が起きた際のシミュレーションをする中で、自分たちに期待されている役割があるということを認識させることにより、自尊感情を高める効果を狙う。コミュニティカレンダーは、地域、学校園の行事以外に、校区内の安全マップや非常時の携行品一覧、緊急連絡先などを記入できるようにし、また作成費用は市費に頼るのではなく、広告宣伝費ということで地域の方に寄付を募るなど、子供のいない世帯も含め、地域の方に協力を求める(巻き込む)工夫がみられる。

## ●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

地域の方と子供たちを結びつけることにより、地域の方には「小学生、中学生はこんなことができるのか」という発見が生まれ、子供たちには地域の方への感謝の気持ちが生まれている。実際に地域コーディネーターが行った生徒たちの面接によって「身近な大人モデル」を見つけた子供もいることがわかり、コーディネーターのモチベーションが一層高まっている。また、「めざす子ども像」を共有する地域と学校園の合同会議や、合同研修を行うことで地域と学校のつながりを深め、さらには個々人の信頼関係をも築くことに成功している。

## ●その他

小学校でのカヌー体験教室は(株)モンベル、奈良教育大学の協力を得て、小学校のプールで行われる。また中学校では、奈良教育大学の学生の協力で、「あすかスタサポ(放課後図書館学習)」を行うなど、地域と学校の多様な連携が展開されている。



確認  
ライ  
フ  
フ  
ジ  
ヤ  
ケ  
ツ  
ト  
の  
重  
要  
性  
を  
確  
認  
す  
る  
こ  
と  
も  
飛  
鳥  
小  
学  
校  
カ  
ヌ  
ー  
体  
験



平  
成  
二  
十  
九  
年  
度  
か  
ら  
は  
イ  
ン  
タ  
ー  
支  
援  
も  
実  
施  
。  
使  
っ  
た  
プ  
リ  
ン  
ト  
学  
習  
支  
援